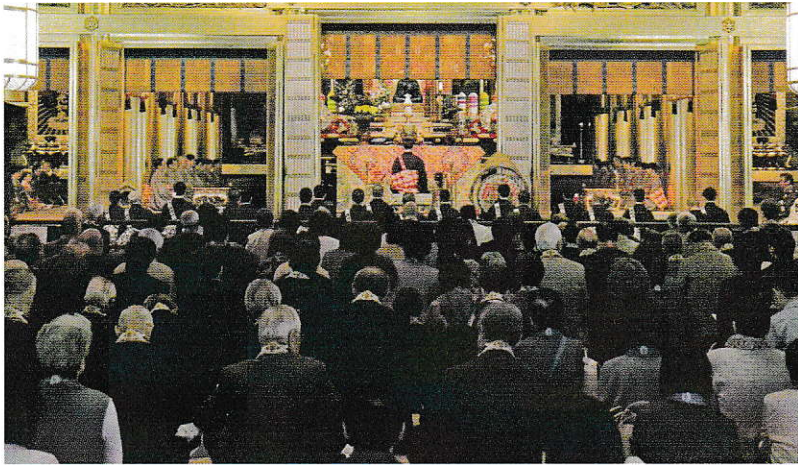


恵信尼公750回忌法要営む



京都本願寺では四月十三日〜十五日まで「春の法要」が営まれ、今年には恵信尼公七五〇回忌法要が御影堂にて厳修されました。国内外の仏教

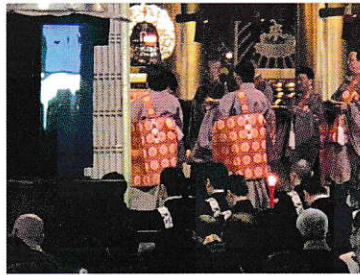


季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096)383-4874
FAX (096)383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
<http://www.facebook.com/kakuhouji>

一斉に唱和しました。十四日はご門主様お導師のもと、阿弥陀堂から御影堂にかけて「縁儀」という練り歩きが行われ、北米・ハワイ・カナダ・南米開教区の仏教婦人会メンバーも参加しました。ご門主様のご法話では「少しで



女性初の散華頭

を女性僧侶二人が初めて務めました。この後、親鸞聖人の書き残した「正信偈」を

婦人会をはじめ、多くの方が参拝し、宗祖親鸞聖人と共にお念仏の道を歩まれた妻、恵信尼公のご遺徳を偲びました。恵信尼公の法要は、十三日は前門様御出座のもと、法要の始まりに唱える声明を先導する「散華頭」



恵信尼公の御影前でお焼香

も阿弥陀さまのお心にかなう生き方、すなわち、すべての人々の幸せを願い、誰もが心豊かに生きられる社会の実現を目指して努力するのが、私たちが念仏者の生き方です。この社会は、私一人で自由に生きていくのではなく、さまざまなご縁の中でお互いに助け合い生かされている私であることを、あらためてみ教えを通して深く味わいたい」とおっしゃっております。



坊守さんと共に女性結衆メンバー

ご本尊は本山からお迎えしませう

ご本尊について
お問い合わせ

参拝部
覚法寺

☎075(371)5181 まで
☎096(383)4874 まで

住職雑記

恵信尼公七五〇回忌法要に合わせて、仏婦総連盟が五十二年ぶりに仏婦綱領の全面改定を発表しました。▼以前の仏婦綱領は、既婚女性(家庭婦人)を念頭においた綱領になっており、現代の社会に馴染みにくくなってきたため、「生き方の多様性を妨げず、誰にでも受け入れられる綱領」という点を重視し、文言から「母」「家庭」「仏の子ども」という言葉を消し、恵信尼公七五〇回忌法要をひとつの機縁とし、改定することとなったようです。

▼この点について、ある記事に於いては、「もっと早くしてもおかしくなかった。」と厳しい指摘が書いてありました。如何せん日本という国がその点について、上げようとしにくい重い腰なのでしょう。それは皆様方も日常で多々感じることがある事と思います。

▼日本は「世界男女平等ランキング」調査対象国(四四カ国)のうち、第二四位だそうです。この現実を危惧してか、来年には女性活躍推進法により、企業は女性の管理職登用の数値目標などが義務化されます。これから少子化、高齢化社会に益々歯車がかかる中で、女性の社会進出は益々必須となるでしょう。

2018年 降誕会法要

五月二十日(日)、宗祖親鸞聖人の降誕会法要をお勤めいたしました。今年も音楽法要をお勤めした後、落語を楽しみました。



音楽法要をお勤めしました

今年も七年ぶりの橋家蔵之助師匠と桂梅團治師匠の東西顔合わせに、お弟子の桂小梅さんというにぎやかな顔ぶれでした。境内ではハッピーを着た仏教壮年会の方たちが、日本料理はらぐち(ご門徒の原口さん)のお弁

当を配り、味噌天神のヤマヤス味噌・醤油店(ご門徒の吉本さん)とお仏壇の合掌(門徒総代の陣内さん)から出店して、降誕会の雰囲気を感じました。昨年の六〇名から



ヤマヤス醤油・味噌の出店

今年は一〇〇名とえましたが、五年になりました。降誕会のみなさんに知



100名ほどの参拝でした

震災後のご門徒の皆さんそれぞれの復興と共に、お寺の復興に力をいれていかなければと思うことです。



お弁当を配る仏社会員のみなさん



桂梅團治師匠



橋家蔵之助師匠

西念寺(水俣)との交流会

五月十三日(日)午前中に、西念寺(水俣)のご住職と仏教壮年会の方が八名で覚法寺



覚法寺本堂にて

を訪ねて来られました。西念寺の皆さんは、

昨年仙台で開催された仏教壮年会の全国大会に、熊本から二泊三日の行程で一揃しました。

住職さんが、覚法寺の歴史と沿革についてお話をされた



接待所で意見交換

後、総代の三嶋統吾さん、陣内巧さんも一緒に寺院活動や仏教壮年会活動について意見交換しました。

にちじよう

数年前、私は某大手の飲食業に勤めていました。毎日が忙しく、深夜担当であったため昼夜も逆転し、休みはほとんど寝て過ごすことも珍しくない。そういう日々が続いた、ある日のことです。私は免許更新のため免許センターに行きました。合間の時間に外に出て、太陽の光を浴びながら自然の風を受けていると、ふと懐かしい気持ちになったのです。久しぶりにこんな気持ちになったなあと思ひ、あることに気が付きました。それは自然の風がとても気持ちいいということ。そして私が自然の風を感じる事ができないくらい、今まで日々の生活に追い込まれていたということでした。余裕ができると、ちょっとした色々なことに気がつけるものです。この余裕を持つことを、忘れたくないものですね。皆さんは最近、自然の風を感じていますか？

(菅原)



熊本仏教社年会

五月二十日(日)の降誕会では、前日の会場準備から当日のお世話まで手分けしてお手伝いをしていただきました。



2年続けて司会をしてくださった坂梨さん



法要終了後にお弁当配り

今年の例会は「仏説無量寿経」の下巻を読んでいます。

七月二十六日(木)の懇親会は、水前寺共済会館のビアガーデンに行きます。飲み食べ放題。二時間三〇〇〇円の特別価格(先着三〇〇名)。覚法寺門信徒のみなさん、女性の方も大歓迎! 覚法寺(担当・福田)までお問い合わせください。

覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより

春の彼岸会法要の後も行事が多く、お手伝いやそれへの参加をもって例会とする月もございました。



私達の主な活動・・・(春より初夏へ)・・・

4月



- 「花まつり春の子供会」のお手伝い (お餅つき等)

参加の子供さんのついたお餅で昼食としますので、仏会員さんと共にいろいろなお手伝い。笑い合ったり、ハラハラしたり…子供との触れ合いはいいですね。
- 例会

新年度会費の受け付け。ビデオによる「お釈迦様」のお勉強は完了し、次回よりは季刊「めぐみ」を中心として、私達の「信」の有り方を深めてまいります。



つきたてのお餅を丸くします

5月



- 降誕会法要

【準備】仏具の”おみがき”と音楽法要のお稽古。
【当日】熊本地震より2年を過ぎ、門信徒各ご家庭や覚法寺も不完全ながらも以前の生活に戻りつつある中、参加者も少しずつ増えてまいりました。住職様導師のもと、坊守様のエレクトーン伴奏に合わせて、僧侶と参加者全員での音楽法要は壮麗でした。後席の落語会は三名の出演で、おかしく、楽しいひとときでした。お昼は当会員さんのお店によるきれいなお弁当でした。



落語会

6月



- 熊本組仏教婦人の集い(「教厳寺」様にて)

講師…小山 一行 師
- 熊本教区仏教婦人会総会(教区別院にて)

講師…中川 清昭 師



「仏教婦人の集い」に参加しました

お坊さんの一言

親鸞聖人の、浄土和讃に「染香人」という言葉があります。

体(からだ)に香を燃(た)きしめると、ふくいくとよい香りが辺りに漂うように、お念仏が身についた人は、その徳がまわりの人びとに伝わっていくのであります。「お年寄りの間で、この頃は若い人がお寺へ参らなくなった」という愚痴や私が死んだ後は年忌法要とか、お仏壇の給仕をしてくれるだろうかと、という心配をよく耳にします。確かにお年寄りが、いくら仏法を色々語ろうとしても若い人たちは聞いてくれないものではないかもしれません。言葉で伝えるのではなく、その人の生活している(うしろ姿)が若い世代に間違えなく仏法を語り伝えていくのではないのでしょうか。

称名念仏それが話よ (光寺)



宗門総合振興計画
ご懇志進納状況の報告③

本山からの依頼額九三〇万円のうち六月三日現在、三九四件・六八八万円のご懇志をお預かり致しました。篤くお礼申し上げます。残り二四二万円です。

本山では、二〇二三年(平成三十五年)頃を予定に、「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年法要」が既に計画されており、進納期限は二〇二〇年(平成三十二年)三月三十一日までです。ご進納がまだの方は、どうぞ宜しくお願い致します。

キッズサンガ 夏の寺子屋子ども会

8月2日(木)~8月3日(金)

花まつり(春の子ども会)

四月四日(水)花まつり(春の子ども会)をしました。今年も餅つきをして、ついたお餅を仏様にお供えして、みんなでお参りました。住職さん手作りの紙芝居を観た後、どんぐりの木に椎茸のコマ打ちをして、それぞれおみやげに持って帰ってもらいました。来年の秋、椎茸が生えるといいね。



きれいに丸めることができました



杵と臼でお餅をつきました



みんなでいただきました



仏様にお供え(献供)



おばあちゃんと一緒にコマ打ち作業



中学生のお兄さんたちがお手伝い

毎月16日6時30分(宗祖親鸞聖人の御命日)
お寺に参ろう。門信徒総参拝

自己紹介

ご門徒の皆さん、初めまして。佐賀県より参りました不二見慈朗(ふじみじろう)と申します。東京での法務員を経て、ご縁によりこのお寺の職員になりました。田舎生まれののんびりとした性格ではありますが、どうぞ皆様よろしくお願ひ致します。(写真右)



伊津野さん(左)と不二見さん(右)

ご門徒の皆さん、はじめまして。熊本県南区城南町より参りました伊津野真之(いづのまさゆき)と申します。熊本県で4年間会社員として勤めましたのち、お寺の職員になりました。慣れ親しんだ土地ではありますが久しぶりの環境ですので少しでも早く馴染めますよう、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。(写真左)

どうぞお参りください

▼八月十六日(木)
歡喜会(盂蘭盆会)

※午後一時より、無量寿堂・納骨所でお盆の法要。一時三十分より、本堂にて法要・法話。
※覚法寺では、七月から、八月十六日まで、お盆のお参りをいたします。特に初盆を迎えられる方は、早めにお寺までご連絡ください。

▼九月十八日(火)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

(東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)

▼秋のお彼岸
九月二十三日(日)

二十四日(月)
二十五日(火)

趣味の写真集や自分史を作ってみませんか?
1冊よりお作り致します。



PRINTING©

株式会社 太陽社

●企画印刷 7862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
●一般印刷物 TEL 096-366-1251
●カラーコピー FAX 096-364-7672
●データ入力

http://www.taiyo-sha.net

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720